

2019年度事業計画書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

公益財団法人 社会貢献支援財団

2019年度事業計画

I. 基本方針

社会の安寧と幸福のために尽くされ、顕著な功績をあげながら報われる機会の少ない方々を発掘し表彰するとともに、受賞者の善行を周知するために表彰事業を継続実施する。

今年度も、表彰式典を第52回と第53回の2回開催し、合計80件に表彰を行う。

対象となる功績は、第52回、第53回いずれも 1) 人命救助の功績 2) 国内外における社会貢献の功績 を対象とした計80件に。各回40件ずつの表彰を表彰選考委員会の選考を経て行う。

ホームページを活用し、受賞者の活動を広く告知するとともに、メディアへの露出を高め社会に向けて善行を一層広める努力を行う。

2019年度においても、基本財産の運用収入の一層の減少は避けがたく、自己資金収入のみで事業並びに関連諸活動の経費を賄うことは困難である。このため、当年度も日本財団に助成金の交付を仰ぎ、活動の財政基盤の確保を図り健全な運営に努める。

II. 事業の内容

1. 海難救助等社会貢献者の表彰

推薦を受けた表彰候補者について表彰選考委員会で審議し、その選考結果にもとづき、会長が受賞者を決定し、理事会へ報告する。

社会貢献者表彰式典を7月と11月の2回開催して、受賞者を表彰するとともに、併せて祝賀会を実施する。また第52回（7月）、第53回（11月）いずれも前日に受賞者と当財団等の懇談会を実施し、受賞者間の交流を促進する。

(1) 社会貢献者表彰式典（祝賀会併催）

①第52回表彰式典（7月開催）

- | | |
|---------|---------------|
| 1) 開催時期 | 2019年7月22日（月） |
| 2) 実施場所 | 帝国ホテル 孔雀の間 |
| 3) 授賞件数 | 40件（決定済） |
| 4) 贈呈品 | 表彰状、副賞、記念品 |
| 5) 参加者 | 約500名（受賞者を含む） |

- ・受賞者（付添同伴者を含む） 約100名
- ・推薦者・協力者等関係者 約300名
- ・業界団体・報道機関、その他 約100名

6) 受賞者懇談会の実施

- ・開催時期 2019年7月21日（日）（表彰式典前日）
- ・実施場所 帝国ホテル 富士の間
- ・参加者 約100名

②第53回表彰式典（11月開催）

- 1) 開催時期 2019年11月25日（月）（予定）
- 2) 実施場所 帝国ホテル 孔雀の間
- 3) 授賞件数 40件程度
- 4) 贈呈品 表彰状、副賞、記念品
- 5) 参加者 約500名（受賞者を含む）

- ・受賞者（付添同伴者を含む） 約100名
- ・推薦者・協力者等関係者 約300名
- ・業界団体・報道機関、その他 約100名

6) 受賞者懇談会の実施

- ・開催時期 2019年11月24日（日）（表彰式典前日）
- ・実施場所 帝国ホテル
- ・参加者 約100名

(2) 記録集の製作

第52・53回受賞の社会貢献者の記録をそれぞれ作成、関係各所へ配布する。

- ① 内容 受賞者の功績内容および手記を中心に、表彰式典の実施内容紹介等を取りまとめた、「社会貢献者の記録」として作成する。
- ② 部数 合計1000部
- ③ 配布時期 2020年3月
- ④ 配布先 報道機関、図書館、受賞者、推薦関係者、関連団体等

(3) 受賞者の功績内容の周知

新聞（全国紙、地方紙）、雑誌等の報道機関への受賞者発表、財団ホームページへの掲載等を通じ受賞者とその功績内容を周知するとともにパブリシティ活動を行ない広報に努める。 実施時期：受賞者決定以降随時

(4) 2020年度第54・55回表彰候補者の推薦依頼

地方自治体、ボランティア団体、関係団体、社会福祉協議会、警察、消防等への推薦依頼、新聞（全国紙、地方紙）及び雑誌等での募集広告、当財団ホームページでの募集等を行なうとともにパブリシティ活動を積極的に行ない、広く候補者の推薦を募る。 推薦募集期間：2019年9月1日～11月30日

(5) 受賞者との対談

これまでの受賞者で、活動内容が共通する3～4の個人・団体と、会長との対談を行い、受賞者が取り組む活動の現状や問題点について対談を行い、その模様をホームページで紹介する。

2. 奨励賞の贈呈

過去の社会貢献者表彰受賞者の中から、その後も顕著な活動をされている個人や団体に対し、選考委員会の審査を経て、奨励賞を贈呈する。

Ⅲ. 管 理 業 務

1. 会議の開催

財団の運営及び表彰事業を推進する為、理事会、評議員会及び選考委員会を開催する。

(1) 理 事 会

① 2019年6月上旬

1. 2018年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件
2. 第11回評議員会開催招集について
3. 2020年度社会貢献者表彰の選考に関する、表彰選考委員会への諮問の件
4. 2019年度社会貢献者表彰受賞者について（報告）
5. 2020年度社会貢献者表彰推薦募集について（報告）

② 2019年6月下旬

1. 会長・副会長及び専務理事の選定について

③ 2019年9月下旬

1. 日本財団に対する2020年度助成金の交付申請について
2. 会長及び専務理事の業務について（報告）

④ 2020年3月下旬

1. 2020年度事業計画書及び収支予算書の承認について

2. 会長及び専務理事の業務について（報告）

(2) 評議員会

①2019年6月下旬

1. 2018年度決算報告書及び事業報告書の承認について
2. 第6期理事の重任及び選任について
3. 2019年度社会貢献者表彰推薦募集について（報告）

(3) 選考委員会

2020年1月中旬

2020年度（第54・55回）社会貢献者表彰候補者に関する審議と受賞者の選考及び会長へ答申決定

2. 財産の管理

(1) 基本財産

基本財産25億円は、定款に基づき適正な維持及び管理に努める。

(2) 普通預金

本年度も低金利が続くことが予測される中で、安全性を重視し、かつ効果的な運用を図る。

本年度の収入・支出の概要は以下のとおりである。

[事業活動の部]

事業活動収入計	¥237,505,000
事業活動支出計	¥233,432,000
事業活動収支差額	¥4,073,000

[投資活動の部]

投資活動収入計	¥0
投資活動支出計	¥4,072,900
投資活動収支差額	△¥4,072,900

[予備費支出]

予備費支出	¥100
当期収支差額	¥0
前期繰越収支差額	¥0
次期繰越収支差額	¥0